

いちご栽培管理 (R5.11.)

(有) 丸 富

10 月は中旬頃まで日差しが強く、暑くて干ばつ傾向だった。生育は管理により差が大きく、全体的に花芽分化が遅れた。未分化定植したところが多かったので、出蕾を確認するまで心配だった。各地で害虫が多発した。

腋(二番)花房の花芽分化後

近日点で、且つ満月頃は花芽分化しやすい。腋(二番)花房の花芽分化後は樹勢を維持するよう管理する。

腋花房の花芽分化後に**天地の恵み 500 cc (発根力 1ℓ) / 10a** と **サンミネーラ 50 cc / 10a** を灌水する。

害虫対策

近日点では害虫の発生予防に事前対応する。ハウス周辺からの病害虫のハウスへの侵入を注意する。

防除事前に、虫を追い出すよう **バイオアクトTS 50~100 cc / 10a** を灌水してその後に害虫防除を行う。

害虫の繁殖抑制に **バイオアクトTS 2,000~3,000 倍** を防除時に混用散布する。

出蕾促進

頂(一番)花房が出蕾したら、ジベレリン処理と同じタイミングで花の細胞分裂を促進し、花房の充実を図るよう、光合成の促進に努める。

細胞分裂と花房充実に **笑顔 1,000 倍 (又は天地の恵み 500 倍)** と **サンミネーラ 10,000 倍** を葉面散布する。

品質の向上

開花後の細胞分裂期に品質(果形)や肥大、糖度(味)は決まる。開花前後の 7~10 日で品質が大きく左右する。この期間は硝酸態窒素が残りにくい液肥や発根剤を施用する。

開花 1 週間前から **天地の恵み 200 cc / 10a** と **酸カル 50 cc / 10a** と **サンミネーラ 50 cc / 10a** を灌水する。

病害対策

近日点では病害の発生は少ないが、窒素過多に注意しながら株の管理を行う。近日点でも新月頃は軟弱徒長や窒素過多になり、病害が発生しやすいので、注意する。

細胞壁の強化と病害抵抗力の向上に **酸カル 2,000 倍** と **サンミネーラ 10,000 倍** を防除時に混用散布する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	3~5ℓ
時を越えた贈り物(又は酸カル)	100~200cc
サンミネーラ	50~100cc
バイオアクトTS	50~100cc

5~7 日毎に灌水する場合
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シカアップ 100~150 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50~100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)